

環境問題に関するアンケート調査の集計結果

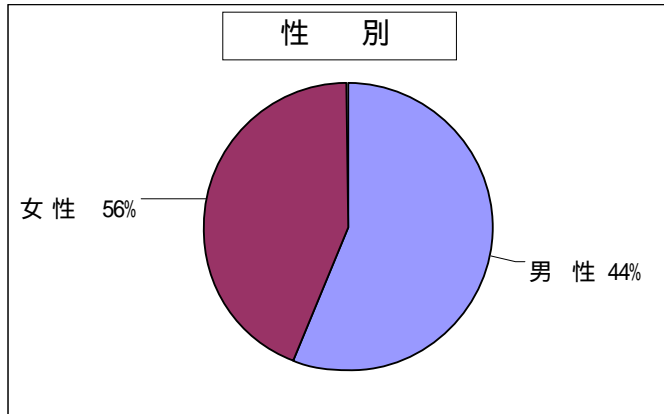
調査時期：平成19年11月

対象者：県政モニター

回答数：225人(回収率 75.0%)

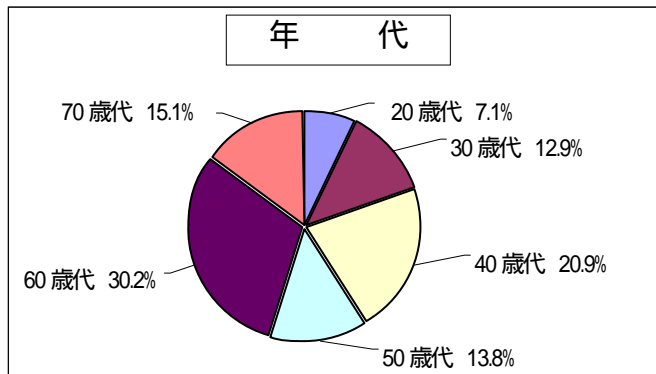
担当課：琵琶湖環境部 環境政策課

調査目的：環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、環境基本条例に基づき策定している環境総合計画（現行の計画は平成16年3月に改定。）について、近年の地球環境問題への危機感の高まりや社会経済情勢の変化等を踏まえて見直しを行う予定であり、県政モニターの皆さんの環境に対するお考えやご意見をお聞きし、改定にあたっての参考にさせていただくことを目的としてアンケート調査を実施しました。



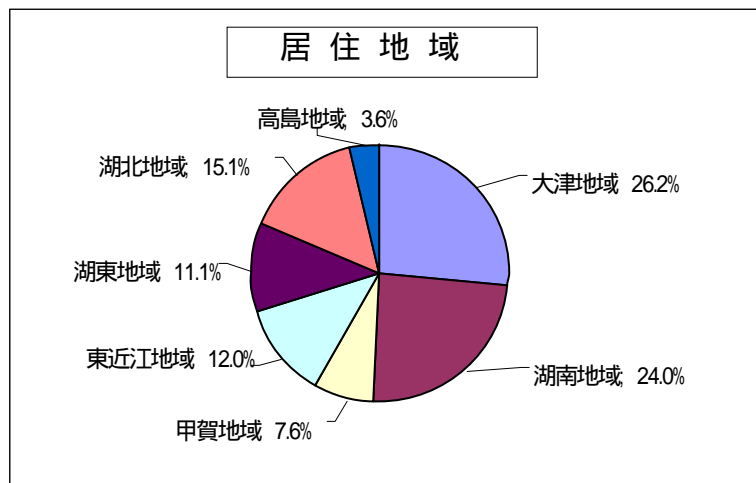
問1 あなたの性別を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
男性	99	44.0%
女性	126	56.0%
合計	225	100.0%



問2 あなたの年代を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
20歳代	16	7.1%
30歳代	29	12.9%
40歳代	47	20.9%
50歳代	31	13.8%
60歳代	68	30.2%
70歳代	34	15.1%
合計	225	100.0%



問3 あなたのお住まいの地域を教えてください。

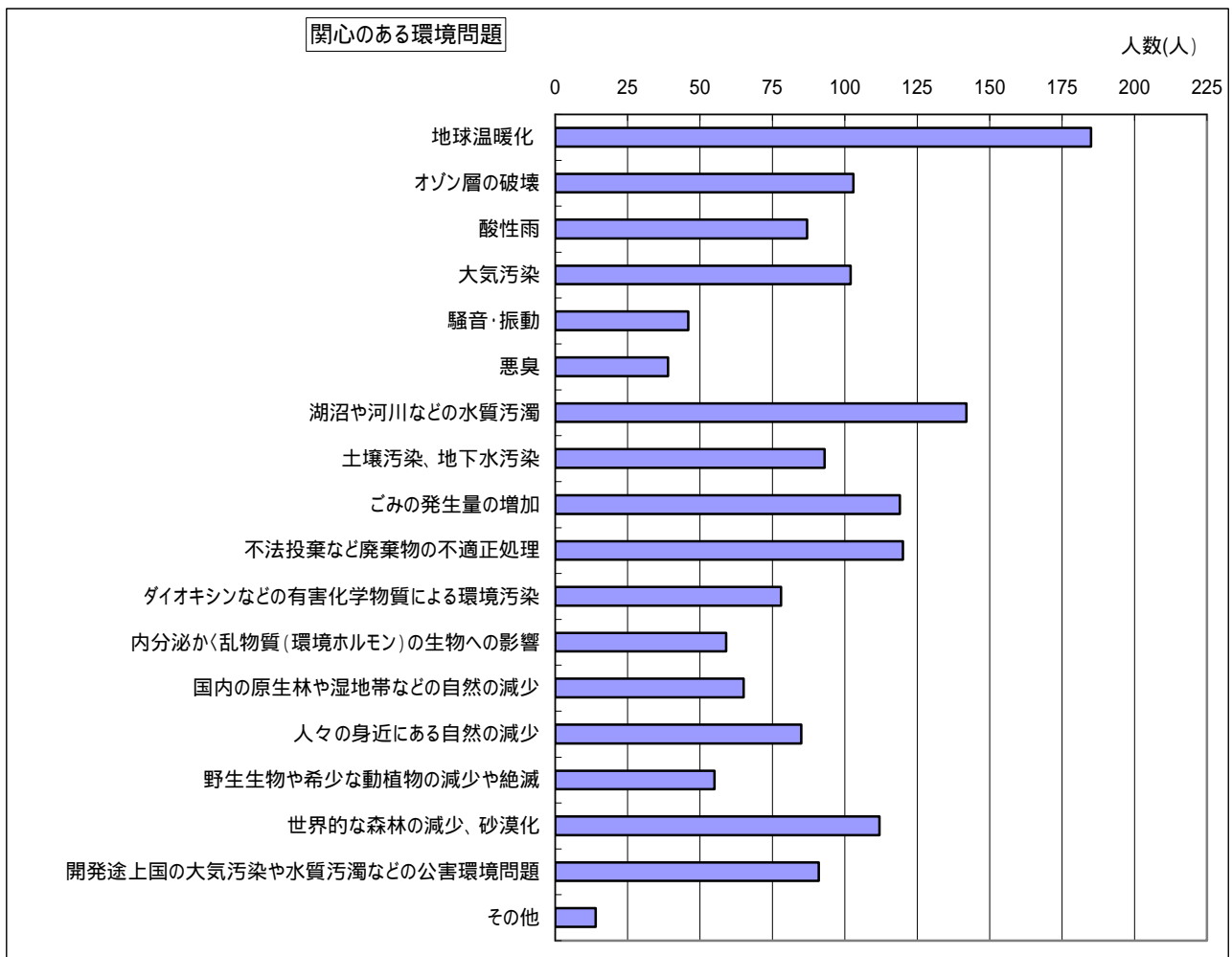
項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	59	26.2%
湖南地域	54	24.0%
甲賀地域	17	7.6%
東近江地域	27	12.0%
湖東地域	25	11.1%
湖北地域	34	15.1%
高島地域	8	3.6%
未記入	1	0.4%
合計	225	100.0%

問4 あなたは、環境問題の中で何に関心がありますか。(はいくつでも)

項目	人数(人)	割合(%)
地球温暖化	185	82.2%
オゾン層の破壊	103	45.8%
酸性雨	87	38.7%
大気汚染	102	45.3%
騒音・振動	46	20.4%
悪臭	39	17.3%
湖沼や河川などの水質汚濁	142	63.1%
土壌汚染、地下水汚染	93	41.3%
ごみの発生量の増加	119	52.9%
不法投棄など廃棄物の不適正処理	120	53.3%
ダイオキシンなどの有害化学物質による環境汚染	78	34.7%
内分泌かく乱物質(環境ホルモン)の生物への影響	59	26.2%
国内の原生林や湿地帯などの自然の減少	65	28.9%
人々の身近にある自然の減少	85	37.8%
野生生物や希少な動植物の減少や絶滅	55	24.4%
世界的な森林の減少、砂漠化	112	49.8%
開発途上国の大気汚染や水質汚濁などの公害環境問題	91	40.4%
その他	14	6.2%

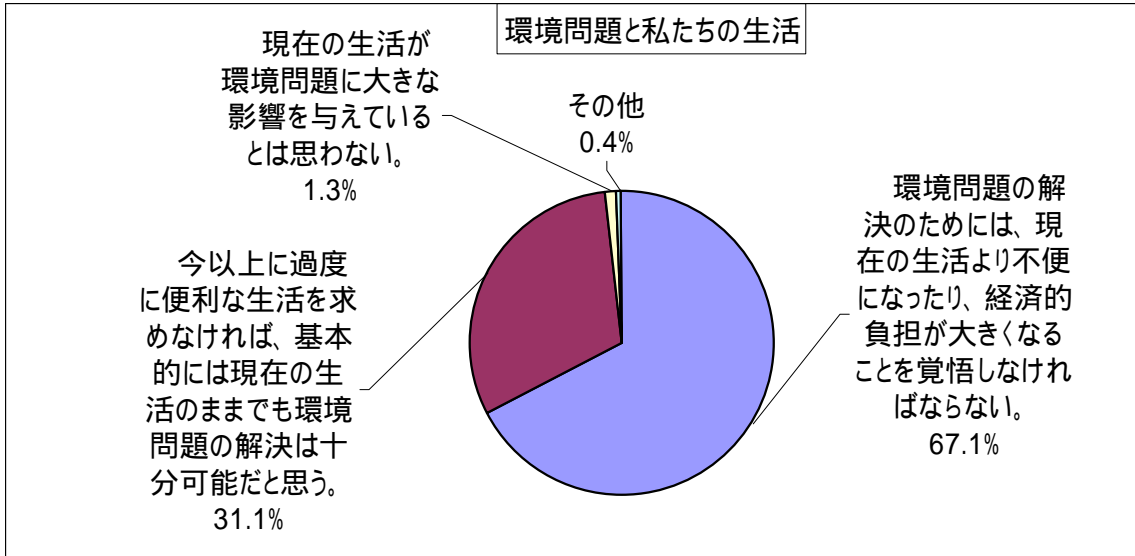
その他 記述事項

化石燃料枯渇、自然湖岸の減少、電磁波、原発事故、たばこのポイ捨て、モラル低下、鳥のフン害 等



問5 環境問題を解決し良好な環境を次世代に引き継いでいくためには、私たちの生活をどうすればよいと思いますか。次のうち、あなたの考えに最も近いものを選んで下さい。(は1つだけ)

項 目	人数(人)	割合(%)
環境問題の解決のためには、現在の生活より不便になったり、経済的負担が大きくなることを覚悟しなければならない。	151	67.1%
今以上に過度に便利な生活を求めなければ、基本的には現在の生活のままでも環境問題の解決は十分可能だと思う。	70	31.1%
現在の生活が環境問題に大きな影響を与えているとは思わない。	3	1.3%
その他	1	0.4%
合 計	225	100.0%

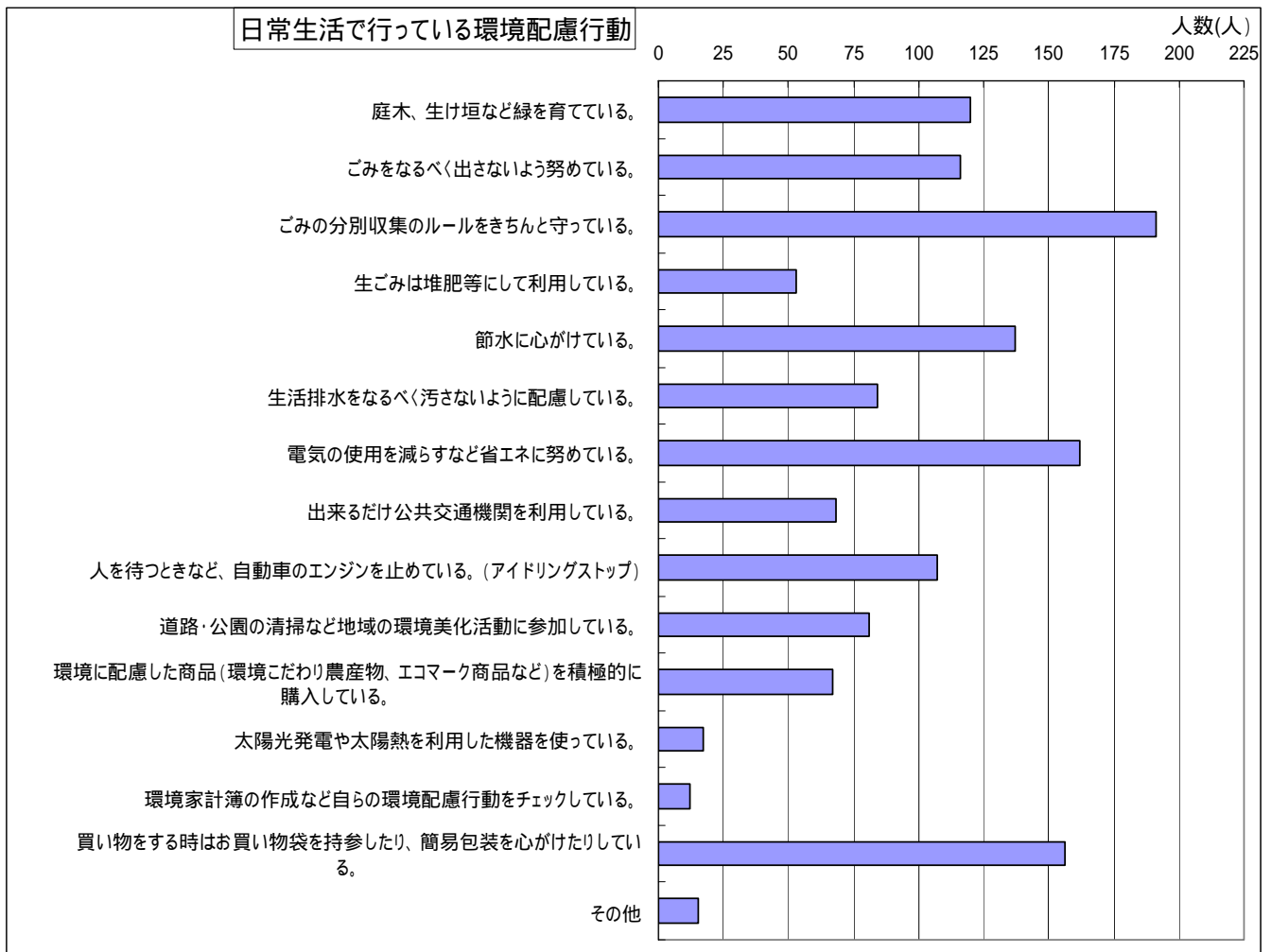


問6 日常生活において、あなたが環境に配慮して行動されていることは次のうちどれですか。(はいくつでも)

項目	人数(人)	割合(%)
庭木、生け垣など緑を育てている。	120	53.3%
ごみをなるべく出さないよう努めている。	116	51.6%
ごみの分別収集のルールをきちんと守っている。	191	84.9%
生ごみは堆肥等にして利用している。	53	23.6%
節水に心がけている。	137	60.9%
生活排水をなるべく汚さないように配慮している。	84	37.3%
電気の使用を減らすなど省エネに努めている。	162	72.0%
出来るだけ公共交通機関を利用している。	68	30.2%
人を待つときなど、自動車のエンジンを止めている。(アイドリングストップ)	107	47.6%
道路・公園の清掃など地域の環境美化活動に参加している。	81	36.0%
環境に配慮した商品(環境こだわり農産物、エコマーク商品など)を積極的に購入している。	67	29.8%
太陽光発電や太陽熱を利用した機器を使っている。	17	7.6%
環境家計簿の作成など自らの環境配慮行動をチェックしている。	12	5.3%
買い物をする時はお買い物袋を持参したり、簡易包装を心がけたりしている。	156	69.3%
その他	15	6.7%

その他 記述事項

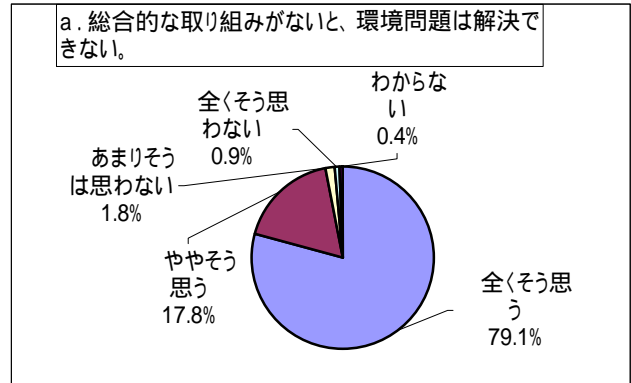
自転車利用、自家用車の利用減らす、牛乳パック・トレイ回収、雨水利用、ものを大切に使う、環境NGO支援等



問7 次にあげる環境に関する考え方や思いについて、あなたの考えに最も近いものに を付けてください。(は1つだけ)

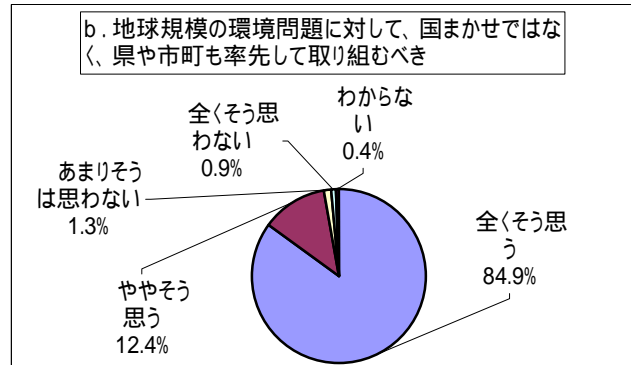
a. 環境問題は社会や経済のあり方と密接に関係しているため、環境分野だけでの対応では不十分であり、産業政策、まちづくり、健康、福祉、教育、文化、安全、防災対策等と一体的に考えなければ、根本的な解決はできない。

項目	人数(人)	割合(%)
全くそう思う	178	79.1%
ややそう思う	40	17.8%
あまりそうは思わない	4	1.8%
全くそう思わない	2	0.9%
わからない	1	0.4%
合計	225	100.0%



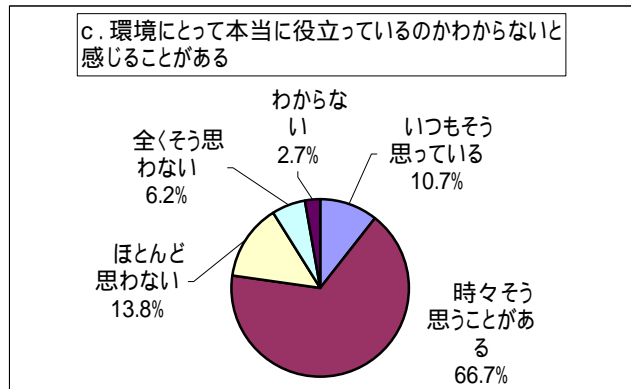
b. 地球温暖化等、人類の存続に関わる環境問題の解決ためには、国の取組みだけに任せるのではなく、県や市町としても率先して出来ることから取り組むべきである。

項目	人数(人)	割合(%)
全くそう思う	191	84.9%
ややそう思う	28	12.4%
あまりそうは思わない	3	1.3%
全くそう思わない	2	0.9%
わからない	1	0.4%
合計	225	100.0%



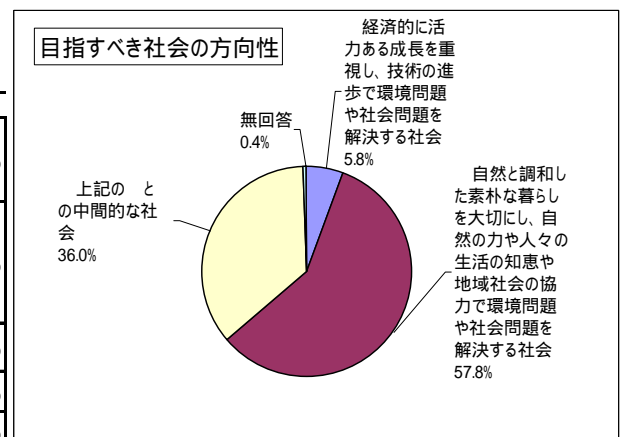
c. 環境によいと思って取り組んでいることが、本当に役に立っているのかわからないと感ずることがある。

項目	人数(人)	割合(%)
いつもそう思っている	24	10.7%
時々そう思うことがある	150	66.7%
ほとんど思わない	31	13.8%
全くそう思わない	14	6.2%
わからない	6	2.7%
合計	225	100.0%



問8 環境問題を解決し良好な環境を次世代に引き継いでいくために、これから私たちが目指していくべき社会の方向性として、あなたのイメージに近いものに を付けてください。(は1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
経済的に活力ある成長を重視し、技術の進歩で環境問題や社会問題を解決する社会	13	5.8%
自然と調和した素朴な暮らしを大切に、自然の力や人々の生活の知恵や地域社会の協力で環境問題や社会問題を解決する社会	130	57.8%
上記のと の中間的な社会	81	36.0%
無回答	1	0.4%
合計	225	100.0%

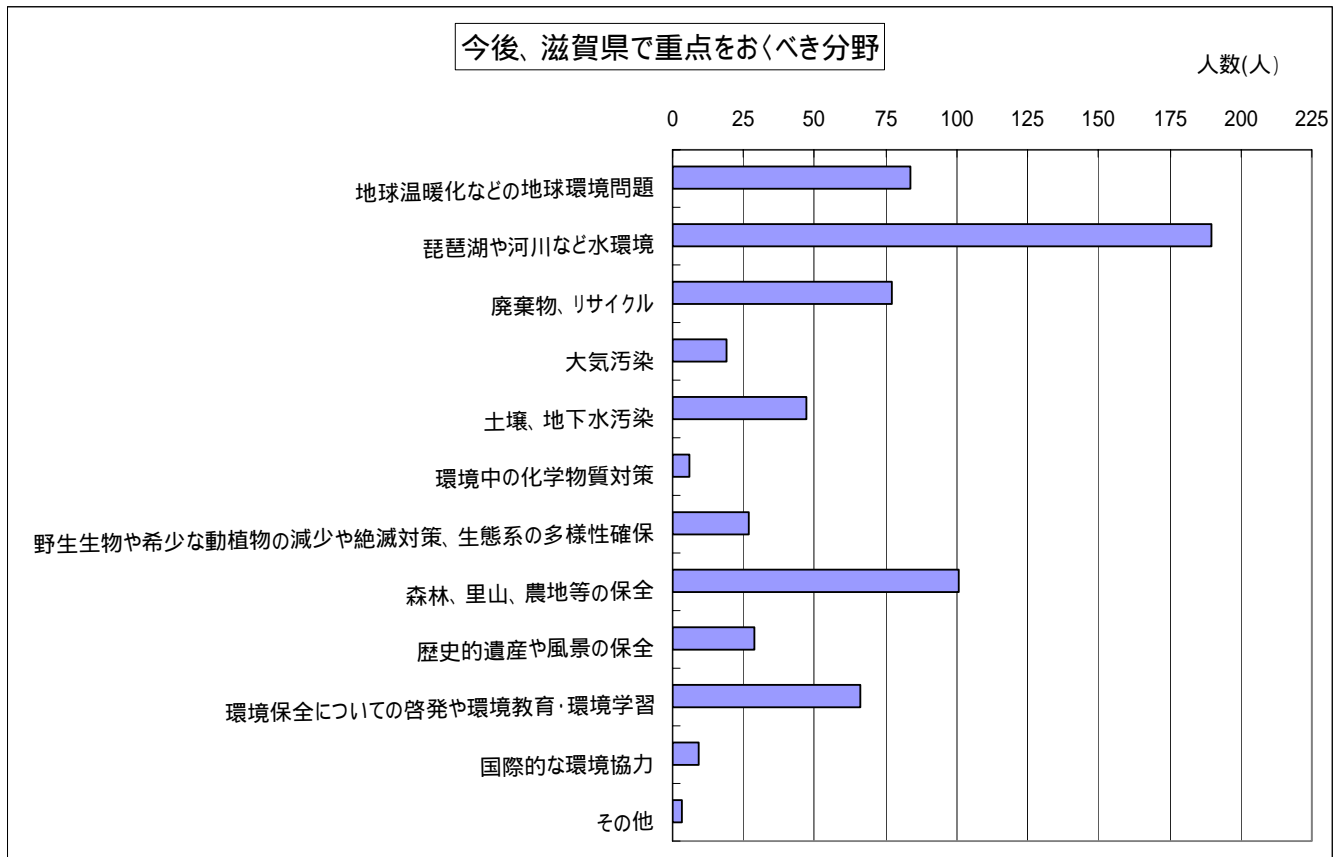


問9 今後の滋賀県の環境を良くしていくために、特に力を注いでいくべきだと考える分野は、次のうちどれだと思いますか。(は3つまで)

項目	人数(人)	割合(%)
地球温暖化などの地球環境問題	84	37.3%
琵琶湖や河川など水環境	190	84.4%
廃棄物、リサイクル	77	34.2%
大気汚染	19	8.4%
土壌、地下水汚染	47	20.9%
環境中の化学物質対策	6	2.7%
野生生物や希少な動植物の減少や絶滅対策、生態系の多様性確保	27	12.0%
森林、里山、農地等の保全	101	44.9%
歴史的遺産や風景の保全	29	12.9%
環境保全についての啓発や環境教育・環境学習	66	29.3%
国際的な環境協力	9	4.0%
その他	3	1.3%

その他 記述事項

ソーラー・風力等環境に優しい発電の促進、環境保全団体の支援、施策の事前検証 等

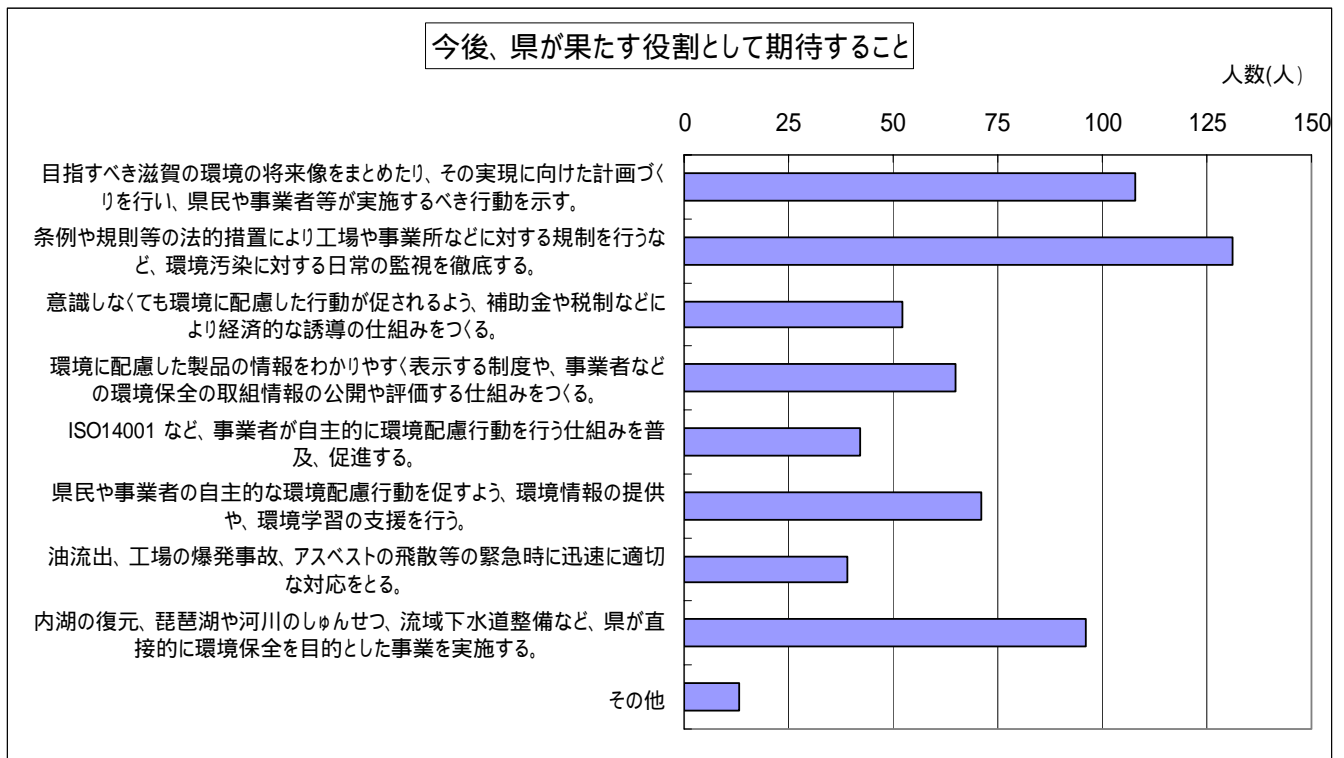


問10 今後、環境保全を効果的に進めるために、県が果たす役割として、あなたが特に期待することは、次のうちどれですか。
(は3つまで)

項 目	人数(人)	割合(%)
目指すべき滋賀の環境の将来像をまとめたり、その実現に向けた計画づくりを行い、県民や事業者等が実施すべき行動を示す。	108	48.0%
条例や規則等の法的措置により工場や事業所などに対する規制を行うなど、環境汚染に対する日常の監視を徹底する。	131	58.2%
意識しなくても環境に配慮した行動が促されるよう、補助金や税制などにより経済的な誘導の仕組みをつくる。	52	23.1%
環境に配慮した製品の情報をわかりやすく表示する制度や、事業者などの環境保全の取組情報の公開や評価する仕組みをつくる。	65	28.9%
ISO14001 など、事業者が自主的に環境配慮行動を行う仕組みを普及、促進する。	42	18.7%
県民や事業者の自主的な環境配慮行動を促すよう、環境情報の提供や、環境学習の支援を行う。	71	31.6%
油流出、工場の爆発事故、アスベストの飛散等の緊急時に迅速に適切な対応をとる。	39	17.3%
内湖の復元、琵琶湖や河川のしゅんせつ、流域下水道整備など、県が直接的に環境保全を目的とした事業を実施する。	96	42.7%
その他	13	5.8%

その他 記述事項

水田・里山・森林の維持のための補助と義務づけ、琵琶湖を大切に作る運動、表彰制度、違反者から罰金を取る、行動のための意識強化徹底、車の昼間点灯運動をやめる、公務員の意識改革、全事業者の環境取り組み状況の公表 県の仕事を減らす、抜き打ち検査の実施 等

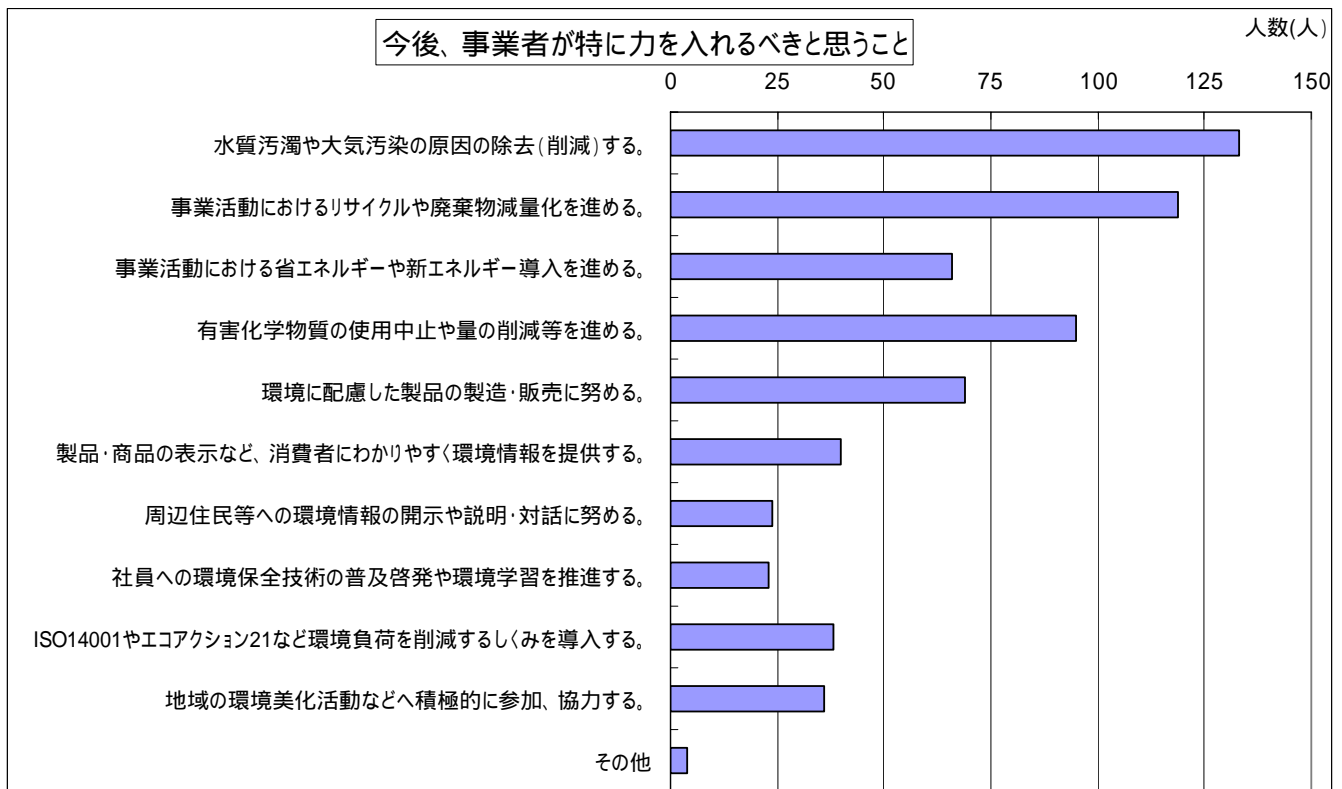


問11 今後、環境保全を効果的に進めるために、事業者が特に力を入れるべきだと思うことは、次のうちどれですか。(は3つまで)

項目	人数(人)	割合(%)
水質汚濁や大気汚染の原因の除去(削減)する。	133	59.1%
事業活動におけるリサイクルや廃棄物減量化を進める。	119	52.9%
事業活動における省エネルギーや新エネルギー導入を進める。	66	29.3%
有害化学物質の使用中止や量の削減等を進める。	95	42.2%
環境に配慮した製品の製造・販売に努める。	69	30.7%
製品・商品の表示など、消費者にわかりやすく環境情報を提供する。	40	17.8%
周辺住民等への環境情報の開示や説明・対話に努める。	24	10.7%
社員への環境保全技術の普及啓発や環境学習を推進する。	23	10.2%
ISO14001やエコアクション21など環境負荷を削減するしくみを導入する。	38	16.9%
地域の環境美化活動などへ積極的に参加、協力する。	36	16.0%
その他	4	1.8%

その他 記述事項

環境団体への協力、利潤をエコに回す仕組みづくり、地域社会の発展を重要視する、机上の数値でなく行動で気配りする。 等

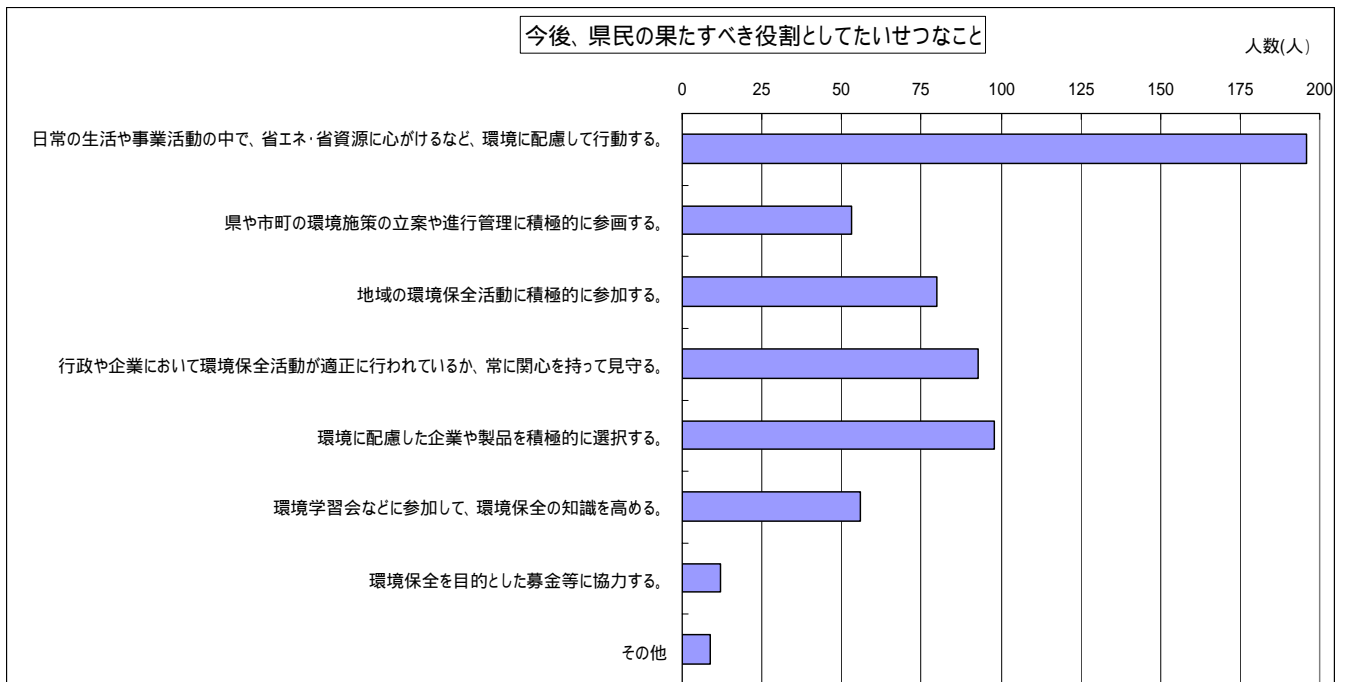


問12 今後、環境保全対策を効果的に進めるために、県民の果たす役割として、特に何が大切だと思いますか。(は3つまで)

項目	人数(人)	割合(%)
日常生活や事業活動の中で、省エネ・省資源に心がけるなど、環境に配慮して行動す	196	87.1%
県や市町の環境施策の立案や進行管理に積極的に参画する。	53	23.6%
地域の環境保全活動に積極的に参加する。	80	35.6%
行政や企業において環境保全活動が適正に行われているか、常に関心を持って見守る。	93	41.3%
環境に配慮した企業や製品を積極的に選択する。	98	43.6%
環境学習会などに参加して、環境保全の知識を高める。	56	24.9%
環境保全を目的とした募金等に協力する。	12	5.3%
その他	9	4.0%

その他 記述事項

自動車利用を減らす、奥深い環境学習、昔の自然や生活様式を子や孫に伝える、生ゴミリサイクル、生活の中で可能なことから実践、PDCA(目標設定 実践 チェック 改善)の実施、人と自然の共生 等

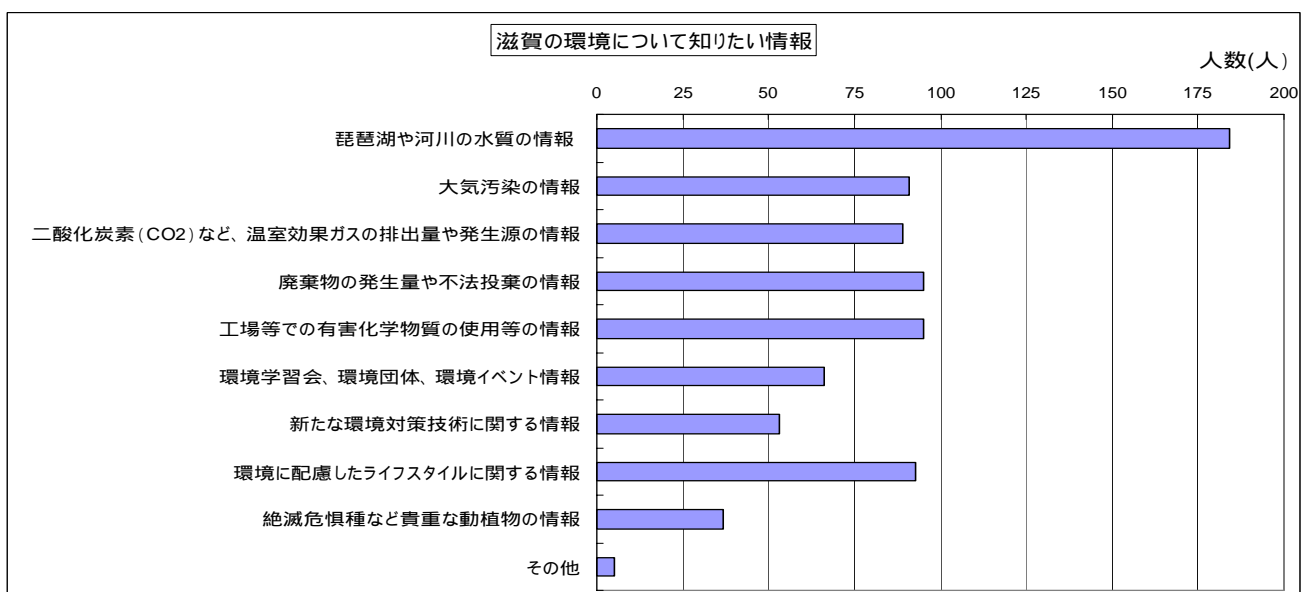


問13 滋賀の環境について、あなたが特に知りたいと思われる情報は、何ですか。
(はいくつでも)

項目	人数(人)	割合(%)
琵琶湖や河川の水質の情報	184	81.8%
大気汚染の情報	91	40.4%
二酸化炭素(CO2)など、温室効果ガスの排出量や発生源の情報	89	39.6%
廃棄物の発生量や不法投棄の情報	95	42.2%
工場等での有害化学物質の使用等の情報	95	42.2%
環境学習会、環境団体、環境イベント情報	66	29.3%
新たな環境対策技術に関する情報	53	23.6%
環境に配慮したライフスタイルに関する情報	93	41.3%
絶滅危惧種など貴重な動植物の情報	37	16.4%
その他	5	2.2%

その他 記述事項

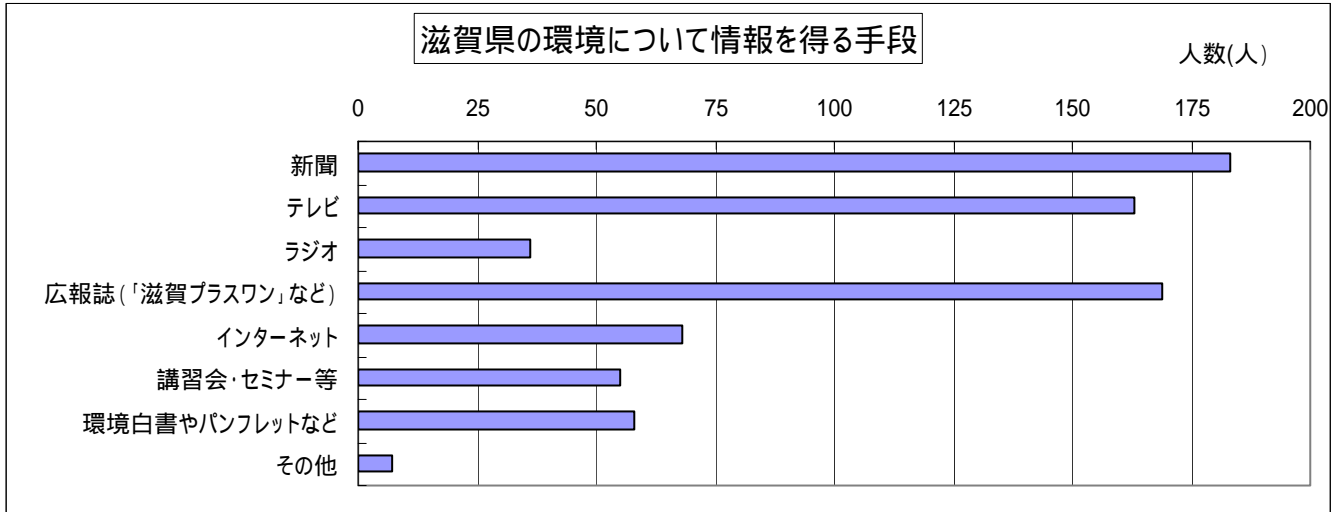
県や市の環境改善事項の取り組み、一般家庭や地域での取り組みの具体策、半世紀前のライフスタイルの利点、環境に配慮している企業、環境破壊につながっている企業情報、行政自身の取り組み成果 等



問14 あなたが滋賀の環境について情報を得る場合、どのような手段によって得られますか。(はいくつでも)

項目	人数(人)	割合(%)
新聞	183	81.3%
テレビ	163	72.4%
ラジオ	36	16.0%
広報誌(「滋賀プラスワン」など)	169	75.1%
インターネット	68	30.2%
講習会・セミナー等	55	24.4%
環境白書やパンフレットなど	58	25.8%
その他	7	3.1%

その他 県環境活動団体、地元の環境は、実際に自分で見て歩く、友人との会話。等



[その他自由記述(主な意見)]

自然・生態系・景観

- ・ 自然環境保全のための緑の保護、スーパー袋の有料化
- ・ 外来魚駆除で琵琶湖の水質改善をしてほしい
- ・ 外来魚の駆除は物理的に困難なので、絶滅危惧種は西の湖等を特別区として保護育成してはどうか
- ・ これ以上発展のための自然破壊はしてはいいけない
- ・ 琵琶湖の生態系改善に向け全県民が政策に反応し、応えていくことが大切
- ・ 早崎内湖対策、丁野木川と琵琶湖の魚類遮断を継続してほしい
- ・ 農地・里山の保全に努める

水・土壌

- ・ 琵琶湖がある滋賀県として、水と水中生物、森林を保護・保全する政策が必要
- ・ 琵琶湖の水が汚くてびっくりする。家庭にも洗剤規制など強制措置が必要。
琵琶湖の水質浄化、環境破壊対策で実績をあげる。企業、官庁でも目標を決め、数値で競わせることにより、県民にも認識してもらう
- ・ 滋賀県といえば琵琶湖で、水質向上のため取り組んでほしい。
- ・ 家庭排水、工場排水の規制強化、合成洗剤の追放
- ・ セメント工場の解体工事が進んでいるが、地下水等環境汚染が心配
- ・ 河川水質、工場排水、森林全てが地球温暖化につながる
- ・ 琵琶湖流入河川の浄化のため、滋賀県民だけでなく訪問者の意識も高める策を考えたい。マナー条例を提案する。
生態系の報道はあるが、水質が良くなっていることが報道されていない。県民は他府県より高い下水道料金を負担しているのだから、点源対策ももっと適切かつ厳正に行ってほしい。今以上のきれいな「マザーレイク」を。
- ・ 母なる琵琶湖を預かる滋賀県として水質汚染に対する厳しい条例を作り、環境浄化に努めるべき

廃棄物・循環・大気

- ・ 自然環境豊かな滋賀県は誇りであるが、訪れる人のマナーが低下しているので条例等で対策を強化すべき。美化環境保全に努める地域住民がやりがいを持って継続できるように。
- ・ 不法投棄、琵琶湖のごみ等の実態を情報公開してほしい
- ・ 工場や事業所の廃棄物に対しても統一的な基準でごみ処理を行ってほしい
- ・ 省資源、素朴な生活への転換で環境面と健康面での改善を
- ・ ゴミ袋の有料化で不法投棄が増えることが心配。罰金徴収すべき。モラル徹底について行政が働きかける。
- ・ たばこのポイ捨てについて、規制や意識啓発をしてほしい
栗東の産廃処分場問題を早急に対応してほしい。滋賀プラスワンにわかりやすく掲載されていたことはよかった。住民に言われてからでなく県が率先して取り組んでほしい。
- ・ 環境県と言われながら、放置自動車、ポイ捨て、不法投棄等改善の兆しがないので、行政指導を厳しくしてほしい
- ・ 森林内の不法投棄撤去費は地主負担であり不合理。不法投棄の防止策と厳罰を望む。
- ・ 琵琶湖周辺の不法投棄ごみを厳しく管理してほしい。県民が自覚を持ってマザーレイクと共生していきたい。
- ・ 大気汚染など環境問題は、健康など多方面に影響がある。子どもの将来のためにしっかりとした環境対策を。

環境学習・NPO 活動

- ・ 環境に関心の無い人が多く、ごみの分別も不十分だ。環境啓発の徹底やモラル教育が必要。
- ・ 将来に向け環境問題について幼少期の社会教育、学校教育を充実。公的機関の率先行動。もったいない思想の推進。
- ・ 国民の多くが環境に無関心。真面目な人間の愛郷心が大切なので政策立案には配慮してほしい。子どもに未来を託し学校教育の面からアプローチしてはどうか。
- ・ 子どもの頃から環境の意識を植え付けるため情報提供を。子どもがやれば大人もつられて頑張る。
- ・ 滋賀県民の責任として琵琶湖を大切にすべき。周囲の山々の保全にもつながる。小学生のうみのこ、やまのこ事業に期待。
- ・ 日常生活で環境に関心を持ち行動する。県も県民に先頭に立って伝えることをしてほしい。
- ・ 個人が家庭で取り組める環境配慮の事例を広く知らせてほしい。
琵琶湖を抱える滋賀県だからこそ積極的に環境問題に取り組むべき。教育、啓蒙が重要。どんな行動が良くて、どんな行動がいけないかを解りやすく示す必要がある。ソーラー発電について、公共施設の率先対応や個人住宅の税制措置で進めるべき。
- ・ エコ家族の推進は大賛成。環境、身体に悪いものは規制を。学生への環境学習を。
滋賀県は環境こだわり県と言っているわりに、琵琶湖環境費が少なすぎて大したことが出来ると思えない。啓発等ソフト事業で効果の大きいものもあるので、県民への実践を促す啓発等をもっと行うべき。
- ・ バイオマス等の施設整備より、住民が無意識的にエコを実践できるようになりたい。そのため、「三方よし」の「世間よし」を学校教育や企業研修で学べるようにしてほしい。
- ・ 「淡海子どもエコクラブ」を拡大してほしい

地球環境・温暖化

- ・ 京都議定書の削減量を守るため、今すぐ生活の中で取り組める対策をとる必要がある
- ・ 次世代や地球全体を考えて、各家庭でできることを考える。県も家庭の負担になりすぎないように進めてほしい。
- ・ 環境について常に先進的であってほしい。生活リズムや省エネの観点から、条例等で深夜営業の規制を。
- ・ 地球温暖化問題と滋賀県の対応のセミナー開催を希望する
- ・ 自動車利用減らすための道路整備を行ったり、エネルギー重加算税の導入を検討してほしい
- ・ 車社会から転換するために、湖西と湖東をつなぐフェリー就航や公共交通機関の整備、車通勤の規制も考えてほしい
- ・ 県内の自動車利用の実態を調査し、徒歩や公共交通機関を利用しやすい環境を作る施策を検討すべき
- ・ 社会的弱者を最優先した環境社会構築

政策手法、其他のご意見

- ・ 環境配慮行動を誘導する税制や補助制度を作る。
- ・ 環境総合計画立案にあたって、優しく実行しやすい政策にしてほしい
- ・ 現在の計画は素晴らしい。さらによい方向へ進め、県民全員が力を合わせることが大切。
- ・ 環境行政を責任もって進めるため、具体的目標を示した行政のマニフェストを作成する。業者に対する罰則適用。
- ・ スローガンだけでなく、数値や科学的説明で環境保護を訴えるべきだ
- ・ これからの環境対策は、県民、農業、商業、企業等が日常的、恒常的に意識して連携して取り組まなくてはならない
- ・ 琵琶湖周辺の車両乗り入れに協力金をいただく。集金は高齢者雇用対策で行ってはどうか。
- ・ 環境政策は世界の動向、国の動向、世論の動向に左右され、最も難しい政策と思う。世論等を気にしすぎず、核心を見失わずに、良い方向に向けてほしい。
- ・ 各個人が日常で取り組めることを実践することが大切。琵琶湖や河川の水質を守るイベントやライフスタイルについての情報を重点的に。CO2 対策について自動車関係からの思い切った対策を。
- ・ 持続可能な社会について、今後の具体的取り組みに強力なリーダーシップを持って取り組んでほしい。そのための応分の負担はやむを得ない。
- ・ 環境対策が新たな環境負荷の増加になっていないか徹しくチェックしてほしい。
- ・ 環境問題は最近特に深刻。1人1人が出来ることからしていきたい。県内に有害事業者がないようチェック体制を備え、皆でチェック出来るとよい。
- ・ 日本をリードする環境保全県を目指して各種施策を推進すべき。そのために経済活動の減速もやむを得ない。
- ・ 滋賀独自の環境政策を大胆に進めてほしい。
- ・ 環境悪化となる開発や工場誘致をしながら琵琶湖をアピールするなど部門間のバランスがとれていない。滋賀の将来に向け何を重視するか考える必要がある。
- ・ 滋賀の発展も大切だが、次世代によりよい琵琶湖を引き継ぐため、県民の自覚が必要。一人一人の関心が大きな成果に結びつくことを期待している。
- ・ 滋賀県の環境を定期的に公表し、プラスワンへも掲載する。正確な情報を分かりやすく伝えてほしい。
- ・ 生活者への意識啓発、琵琶湖等に対する環境情報の提供
- ・ エコ商品の取扱店等の情報を伝えてほしい
- ・ 環境政策の実施の現状を県民知らせる広報活動が少ない。県民の協力を得るためには、まず現況を理解してもらうことからである。
- ・ 環境政策の計画、進捗、結果、次の課題等が県民に見えてこない。見えないので参画したくても出来ない。費用対効果も明らかでない。
- ・ 環境熱心県として他県より進んだ取り組みもあるが、全県的には温度差がある。県民へのPR 不足。
- ・ 国や県が取り組むことと個人が取り組むことを常に考えたい、環境に良いものには惜しみなく金をかけるように心がける。

- ・ 環境汚染をしない、見逃さない、許さないを合い言葉に県民一体となった運動を起こし実行する体制をとってもらいたい。例えば、環境監視員の養成。(65歳以上の人をあてる等。)
- ・ 孫の代にも安心して暮らせる県であってほしい。
- ・ 砂利採取で水質汚濁が進んでいると報じられたのに砂利採取が継続している。河川の三面張りを自然石に。大津なぎさ公園で高層マンションの建築制限、水上バイク禁止、魚釣り場所制限。
- ・ 野焼きの禁止、車優先の施策を全てやめてほしい。
- ・ 滋賀県は水環境を第一に。琵琶湖水循環機械の設置、カワウの孵化規制強化。河川周辺美化等の対策。植樹等に貢献企業の広報拡大。
- ・ 地球温暖化の危機感、ごみ減量の努力と大型家電のリサイクルの仕組み整備
- ・ 買い物袋持参の徹底。近所へは車を使わない。
- ・ 琵琶湖の保全、健全な水環境、地球温暖化対策、県民協働での森林保全、景観づくり、循環型社会の実現、新エネルギーの推進、廃棄物の適正処理に着実に取り組んでいきたい。
- ・ 環境政策と実行を自治体が積極的に推進啓発してほしい。新エネルギー開発に力を注ぐ。教育や啓発に費用をかける。県内にポスターや標語の掲示を増やす。植林、緑化政策に予算を多く取り実行する。家族ぐるみで環境改善に取り組む具体策を講じる。